

蒲郡市産業振興ビジョンに基づいた特集 「蒲郡で働く・輝く女性」



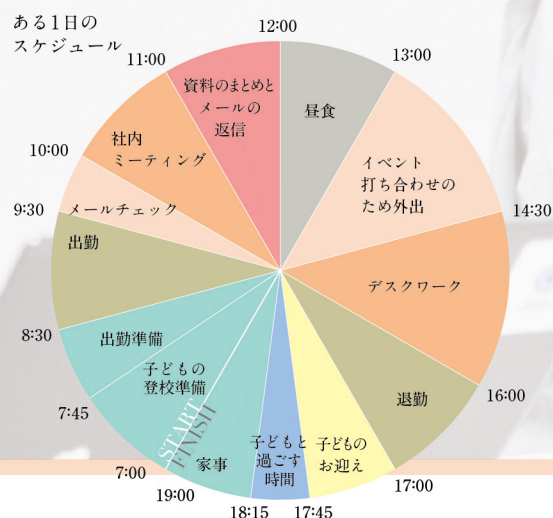
今号からの新たな取り組みとして「蒲郡で働く・輝く女性」（P.51～P.54）を特集として掲載いたします。これは蒲郡市産業振興ビジョンの示す取り組み「柔軟性の強化→ダイバーシティ経営の推進→女性活躍の推進」に準拠しております。蒲郡市産業振興ビジョンについて詳しくはP.55をご参照ください。

細やかな女性の 特性が活かせる

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング (J-TEC)
経営管理部

齋藤 里奈さん

SAITO Rina



株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング、通称J-TECで広報やIRの活動に取り組む齋藤さん。入社時から「バリキャリ」志望。仕事に打ち込んできました。入社前の会社に対する印象は「女性が働きやすい会社」。結婚して子どももいる女性が、大勢いることが印象的だったといいます。「仕事には『初めての女性営業マンとして他の誰よりも活躍したい!』とばかりにとことん打ち込みました。結婚は24歳のとき。結婚してもキャリアを積める環境があるなら、早く結婚・出産すべきだと判断したんです」と齋藤さんは話します。最初の産休・育休を取ったのは2013年。「うれしかったのは、上司から『できる限りフォローしてあげるから帰っておいで』と言われたことです。フルタイムでの復帰も考

えたのですが、まずは短時間勤務で復帰することに決めました」

復帰を契機に部署異動。営業職から内勤に移ります。「内勤の方が働きやすいだろうと会社側が配慮してくれました。事務系の部署で、文献を読み込んで報告書にまとめる仕事を担当しました。この部署は女性が多く、仕事内容も細やかな女性の特性が活かせるのでとても居心地がよかったです。急な早退や欠勤も自然にフォローしてくれ、男性上司も理解がありました。当社は男性の育休取得率が100%で、子育て中の女性社員を男性社員がきめ細かくサポートしてくれるんですよ。もはや企業風土みたいなものですね。」

環境の良さに力をもらって、2人目を出産。現在は2人とも小学生。短時間勤務を続け、放課後児童クラブを利用して育てているといいます。「子どもが大きくなってきたところで、現在の部署に異動しました。ここも女性が多く、直属の先輩はご家族の都合で熊本在住、フルリモート勤務です。女性の多様な働き方のモデルがあちこちにいるので、自分も頑張ろうって気持ちになります。フルタイムに戻ったら、今まで以上にバリバリいきますよ」



More information

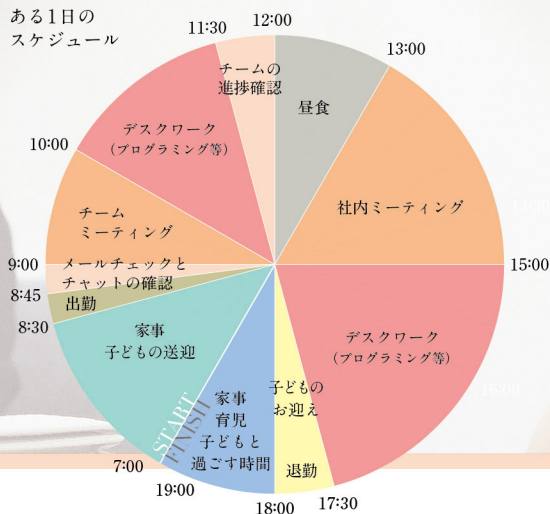
株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング(J-TEC)の
詳細情報はP.19に掲載しております。

働く女性に やさしい環境がある

株式会社ニデック アイケア事業部
開発本部 医療開発部 ソフトウェア開発一課

植村 晴香さん

ある1日の
スケジュール



UEMURA Haruka

2014年の入社以来、開発担当ひとすじの植村さん。システムエンジニアとしてソフトウェア設計に携わり、撮影された画像を解析して表示する部分のシステム開発を主に行っています。インターンで同社を訪れたとき、子どものいる女性がいきいきと働く姿に共感して入社。自身も働きながら子育てに取り組んでいます。

「子育てで一番役立ったのが、社内にある託児所の存在です。私は出産時期の関係で秋からの受け入れ先探しが難しく、出遅れてしまったのですが、会社で託児所があったおかげで予定通り産休・育休から復帰できました。2年半ほど預けることができたので、その間にじっくりさまざまな園について調べ、希望通りのこども園に入園させることに成功し、本当に助かり

ました」

夫も同じ会社に勤務。育休をとって支えてくれました。「当社は男性の育休取得率が高く、社内結婚でない人も希望に合わせて育休をとります。夫は家事が一通りできる人なので、家にいてくれる間はとても助かりました。子育てしやすい制度が充実しているのは当社の長所です。働く女性にやさしい環境があるということ、子どもを産んで実感しました」

開発業務従事者として、フレックスタイム制や裁量労働制を活用しながら、自分の1日のスケジュールに合わせて仕事ができるのも利点だと植村さんは話します。「子どもが朝ぐずっても、心にゆとりがあるので優しく対応できます。病気やけがなどの緊急時も上司や同僚がサポートしてくれるので安心。懐の深い会社だと思います」

お子さんは現在4歳。小学校入学に合わせスケジュールをまた調整したいと考えています。「家庭の状況に、働く時間を合わせるができる。選択肢が広いので、常に余裕を持って仕事にも家庭生活にも取り組みます。仕事も子育てもがんばって、皆さんの健康に資する新製品を市場に送り出したいですね」

More information

株式会社ニデックの詳細情報はP.26に掲載しております。

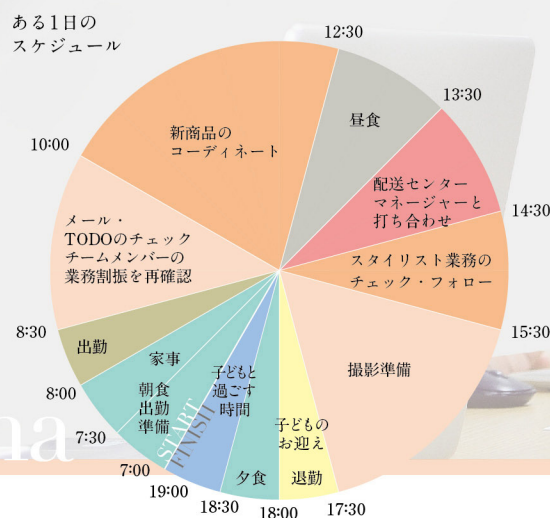


母としても 女性としても輝きたい

株式会社ミスコンシャス
スタイリスト事業部

榊原 加奈さん

ある1日の
スケジュール



SAKAKIBARA Kana

持ち前のファッションセンスとおしゃれ心を生かして、新しいキャリアを構築中の榊原さん。ミスコンシャスには、第2子を出産してから入社しました。蒲郡市内から全国に向けオンラインでドレスをレンタルする会社でスタイリストチームのリーダーとして活躍しています。「前職はパソコンインストラクターです。正社員登用を目指してパートタイムでカスタマーサポートチームで事務の仕事をしていたのですが、ある日社長から『スタイリストチームでリーダーとして頑張ってみないか』とオファーが。びっくりしましたが、ファッションは大好きだし、ドレスのコーディネートにも興味があったので、チャレンジしました」と榊原さん。フォーマルドレスのコーディネートやお客様へのアドバイス、撮

影、品質管理まで幅広い業務をこなしています。「マナーやTPO、サイズまで、お客様からの質問にはなんでも答えられるよう知識を蓄えています。最初から自分にはできないと諦めていたスタイリストの仕事も、飛び込んでみれば楽しくて、これが自分のやりたかった仕事だ!と日々実感しています」

現在は部下が4人。仕事を1人で担うことはなく、必ず2人以上で担当するので、子どもたちの病気やケガなど緊急の場合にも安心して対応できるといいます。「子どもが小さいときは早退や欠勤もありましたが、周囲とサポートし合いながらこなしてきました。みんな、自分もお世話になるからできるときは自分が、と『お互い様』の関係ができていいのがいいですね。うちの子どもが小さいときには、会社がキッズルームを稼働させてくれたりと、寄り添ってもらえたのも嬉しかった。有給も100%使えるし、皆で気持ちよく仕事できています」

女性従業員が多く、経営者も女性の同社だけに、女性が輝くシーンがさまざまに用意されています。「3か月に1回の食事会や、会社のドレスを身に着けてのホテルで行うパーティなど楽しみがいっぱいです!母ではなく女性として過ごせる時間は財産です。正社員となった今も、カラーコーディネートの資格を勉強中です。頼りになるスタイリストになれるようにこれからも頑張りたいですね。」

More information

株式会社ミスコンシャスの
詳細情報はP.44に掲載しております。

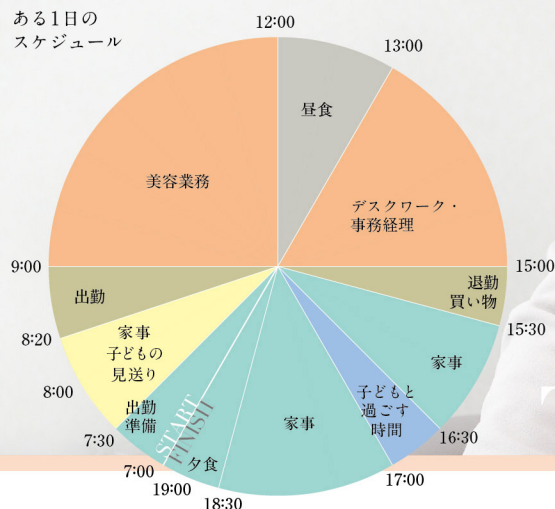


いい意味で 甘えられる

株式会社オニックス
特機事業部 経理
ブライダル事業部（フェアリーブライダル）ヘアメイク

高津 志守華さん

ある1日の
スケジュール



TAKATSU Shizuka

パートタイム社員として、特機事業部の経理を任されつつ、ブライダル事業部でフォトウェディングのヘアメイクを担当する高津さん。事務職とヘアメイクスタイリストの二刀流で活躍しています。

会社との出会いは2013年。それまでブライダルのヘアメイクとして働いていましたが、妊活を考えたことをきっかけに転職。オニックスとマッチングしました。「ヘアメイクの前職が経理事務。前職を生かしつつ、大好きなヘアメイクの仕事からも離れたくないと思い、当社に入社しました。座ってできる仕事を中心に平日休みがあるところを、との条件で探し、ぴったりの会社に出会えたのは幸運だったと思います」

入社して2年後の2015年、2016年に年子で出産。産休・育休を連続取得して3年後に復帰しました。2人目の育休取得もスムーズにでき、気が楽だったと高津さんは振り返ります。「ラッキーにも続けて子どもができたので、効率よく育休がとれました。前任の先輩も育休をとってスムーズに復帰していたので、ブランクに不安はなかったですね。復帰前からブライダルの仕事にも携わりつつ、ウォーミングアップもできてよかったです」

大手企業に比べ、制度的な厚遇があるわけではないと思いますが「会社が産休に関して寛大に受け入れてくれて、安心して取得できました。パートが育休をとっていいのかと悩んでいたときに『遠慮なく育休をとればいいよ』と先に声をかけてくれたのが社長。ずいぶん助けられました」

現在、お子さんは2人とも小学生。ゆとりができた分、してもらったことを後輩に返したいと高津さんは考えています。「子育て中は自分を一番大切にしてほしい。お互いにサポートし合って、いつまでも楽しく働きたいですね」



More information

株式会社オニックスの
詳細情報はP.48に掲載しております。